

# 平成 21 年度 財団法人 わかやま産業振興財団実績報告

平成 21 年度における事業の概要及び財務状況は次のとおりである。

## 1 わかやま企業成長戦略事業

### (1) 中小企業中核支援センター事業

#### ア 支援機関等連携(人材交流強化)促進事業

各種支援機関との連携促進、人材交流の強化・促進を図るとともに近畿府県との交流を図るため近畿ブロック会議等へ参加した。また、職員が情報に関する能力開発のため講習会及び研修会等へ参加した。

#### イ 窓口相談事業

中小企業者等が抱える取引適正化・苦情紛争処理等の問題について、プロジェクトマネージャーや弁護士等が相談に応じた。また、「顧客サービス向上」のため、毎月 1 回第 3 土曜日に土曜相談窓口を設け、サービス体制の充実を図った。

- ・取引適正化・苦情紛争処理等相談 364 件  
(内訳)

内 容	件数	内 容	件数
マーケティング	84 件	ビジネスプラン	54 件
経営全般	120 件	資金	7 件
I T	3 件	技術・I S O	1 件
会社設立	12 件	労務	0 件
事業提携	0 件	法律	0 件
特許	0 件	その他	80 件
土曜相談窓口			3 件

- ・下請かけこみ寺相談事業 10 件 (うち弁護士相談 3 件)

#### ウ 情報機器整備事業

財団ネットワークシステムの管理、運営、高度利用を推進するとともに、県内中小企業からの情報化相談や経営に必要な情報の創出・収集・加工及びホームページ・財団サポートメールによる情報提供を行った。

- ・サポートメール件数(毎週配信) 2,600 件 (平成 22 年 3 月末現在)
- ・ホームページアクセス件数 (年間計) 1,191,690 件 (平成 22 年 3 月末現在)

#### エ 地域プラットフォーム事業

わかやま地域産業総合支援機構(らいぼ)の中核的支援機関として、新事業創出支援体制の連携強化のため、支援施策の情報交換を中心とした支援機関 10 機関による資金支援分科会、13 機関による支援施策分科会及び 13 機関による産学官連携分科会をそれぞれ開催したほか、全支援機関 31 機関による幹事会を開催し、情報交換を行った。

### (2) 創業・経営支援事業

#### ア 委員会運営事業

中小企業支援事業に適合するビジネスプランかどうかを評価・審査する企業評価組織として、事業可能性評価委員会、企業カルテ評価委員会及び経営革新計画評価委員会の 3 委員会を開催し、各プランの評価及び審査を実施した。

委 員 会 名	開催数	選定数
事業可能性評価委員会	2 回	11 件
企業カルテ評価委員会	4 回	63 件
経営革新計画評価委員会	6 回	25 件

#### イ プロジェクトマネージャー設置事業

中小企業者等からの相談やベンチャー企業発掘及び支援体制の構築等支援事業を円滑に運営するため、プロジェクトマネージャー 1 名、インキュベーションマネージャー 1 名及び観光産業プロジェクトマネージャー 1 名を配置し、相談サービスの向上を図った。

ウ 専門家派遣事業

創業や企業経営の向上を目指す中小企業者等に対し、経営・技術・情報化等に関する中小企業診断士や技術士等の専門家を派遣し、診断助言を行った。

- ・派遣企業数 14 社
- ・延派遣回数 129 回

エ ものづくり支援アドバイザー事業

先進企業のノウハウを中小企業に蓄積するため、ものづくりに関する技術改善、生産管理等総合的なアドバイスを行うことができる先進企業OBチームを県内企業に派遣した。

- ・派遣企業数 7 社
- ・延派遣回数 92 回

オ 企業プロデュース事業

県内のやる気ある企業に対して、新たなビジネスモデルや「儲かる仕組み」をプロデュースする専門家チーム 11 名を組織し、人材・商品のブラッシュアップにより、企業の経営革新、第 2 創業、新製品開発及び販路開拓等企業のビジネスプラン実現への支援を行った。また、専門家プロデュースチームによる会議を 4 回開催し、専門家の選定や支援の方向付け等の検討を行った。

- ・選定企業数 37 社
- ・プロデュースチーム延派遣回数 101 回

(3) 販路開拓推進事業

ア 企業登録の推進事業

企業訪問等により下請取引情報提供の基礎となる受・発注企業の登録を推進した。

イ 受発注情報収集提供等の促進事業

県外大手企業の発注計画や発注ニーズについて、ビジネスマッチングステーションを活用し発注案件の収集を図ったほか、財団独自の発注アンケート調査や専門調査員による発注企業開拓訪問などにより県内登録企業に情報提供を行うとともに、取引あっせんの成立に努めた。

ウ 企業情報収集提供等の促進事業

受発注案件、取引改善関係法令及び財団事業等を掲載した情報誌「財団だより」を毎月発行し、情報提供を行った。また、登録企業の自社製品、加工技術を掲載した中小企業ガイドブックを作成し、県外発注企業 820 社に配布するとともに、新規取引先の拡大と取引あっせんに努めた。さらに、県内下請中小企業の受注状況を把握し、下請取引業務の円滑化を図るための資料とするため「経営受注動向調査」を実施した。

(業務遂行状況表)

項 目		前年度まで	本年度	累計
登録企業数	発注企業	455	1	456
	受注企業	946	7	953
発注申出件数		2,505	55	2,560
受注申出件数		4,276	41	4,317
あっせん紹介件数		8,529	289	8,818
あっせん紹介 結果	成立件数	1,583	43	1,626
	不成立件数	6,946	246	7,192
契約成立当初受注金額(千円)		2,595,143	97,013	2,692,156
指導相談件数	計	16,102	291	16,393
	あっせん相談関係	8,811	291	9,102
	経営関係	4,333	0	4,333
	技術関係	1,879	0	1,879

	苦情・紛争関係	119	0	119
	その他	960	0	960
発注開拓企業数		1,692	42	1,734

エ 広域商談会開催事業

県内外の大手メーカー等を招へいし、受注企業とのマッチングの場を提供する個別商談会を和歌山市、大阪市においてそれぞれ1回開催し、取引先の開拓、取引あっせんの円滑化に努めた。

また、優れた自社製品、産品を有する県内企業と県内外の購買企業との商談の場「わかやま産品商談会」を和歌山市、大阪市においてそれぞれ1回開催し、新規取引先の開拓等販路開拓を行った。

- ・ あっせん成立件数 43件 契約金額 約95百万円
- ・ 出展企業数 145社 購買企業 485名

オ 中小企業総合展事業

中小企業者等の優秀な技術、製品等を一堂に展示し、中小企業者等の製品開発力、加工技術等を紹介するとともに、新規取引先の開拓及び広域的な受注機会の増加に努めた。

カ 販路開拓支援事業

新商品等を有する県内企業が首都圏等で開催される専門的分野の展示会に出展する場合の経費や販路開拓のための調査、広報及び多言語ホームページの作成等に係る経費の一部を助成した。

- ・ 補助企業数 8件 補助額 3,118,000円

補助事業者	補助対象商品等	補助事業内容	補助額 (実績)
(株)環境テクノス	超純水装置 殺菌灯装置	国際洗浄産業展出展	176,000
太洋工業(株)	基板最終外観検査 装置	エレクトロテストジ ャパン出展	500,000
阪和電子工業(株)	高耐圧TLP試験器 静電破壊試験装置 誤作動試験器	セミコン・ジャパン 出展	500,000
(株)宮源	嚙下困難者用補助食 品	日本静脈経腸栄養学会 出展	349,000
横綱工業(株)	トイレ・浴用用品	東京インターナショ ナルギフトショー出展	458,000
宮坂木材産業(株)	ウッドトレイ	コンサルタント ・HP作成指導 ・プレスリリース作成指導	335,000
(株)MANPA	コンシェルジュプラ ン	多言語ホームページ作 成(中国語・韓国語・ 英語・フランス語)	500,000
(有)GANCR AFT	ルアー	多言語ホームページ作 成(英語)	300,000

(4) 研究開発強化事業

ア 産学官研究推進事業

県内企業の研究開発を促進するため、産学官の人的ネットワーク構築や研究開発テーマの調査・研究検証を目的として、大学、公設試験研究機関の研究員等が主宰する産学官研

究コンソーシアム5件の運営を助成した。

- ・ネットワーク構築 2件
  - HDT コンソーシアム (和 大)
  - 食品開発の望ましいあり方研究コンソーシアム (近 大)
- ・事業化可能性調査 3件
  - 観光 ICT 開発コンソーシアム ( (株) スマート・インサント)
  - 変圧抽出法による飲料の事業化コンソーシアム ( (有) 丸惣)
  - 機能性の高い梅干の製造コンソーシアム ( (株) 紀州ほそ川)

イ 新連携共同研究事業

地域における経営資源等を活用した新事業創出を目指す中小企業者等が、大学、国立工業高等専門学校や公設試験研究機関との連携により共同研究を行うとともに、事業化を目的として取り組む6グループ(連携体)に対し、共同研究を委託した。

番号	テーマ	委託企業 (コア企業)	連携体構成機関
1	プリンテッドエレクトロニクス用樹脂の開発	新中村化学工業株式会社	和歌山県工業技術センター
2	パイル織物を用いた活性汚泥固定化担体の開発	オーヤパイル株式会社	株式会社ウメタ エコ和歌山株式会社 熊本大学 和歌山県工業技術センター
3	高機能で環境にやさしい木質系研磨砥石の開発と事業化	株式会社KEN KEN	関西大学 和歌山県工業技術センター
4	漆と陶の組み合わせによる新商品創出のためのデザイン技術研究	中西工芸株式会社	株式会社アプリクラフト 株式会社カネコ小兵製陶所 和歌山大学 和歌山県工業技術センター
5	土砂災害予防のための画像計測と定在波レーダによる屋外設置型地盤変位計測実験装置の開発	アイレス電子工業株式会社	和歌山大学 和歌山県工業技術センター (財) 雑賀技術研究所
6	外気導入型低コスト細霧システムの開発	ヤマホ工業株式会社	和歌山県農林水産総合技術センター 和歌山県工業技術センター

ウ 新産業育成支援事業

県内企業が有する優れた技術(こだわり技術)を活用し、21世紀型の「ものづくり企業」の創出を促進するため、新製品・新事業の創出等「ものづくり」に要する経費の一部を助成した。

- ・補助企業数 5件 補助額 8,365,000円

補助事業者	補助事業内容	補助額(実績)
(有)小阪組	草を舗装体にする技術の問題点の改良	608,000
沖野機械(株)	暖房・給湯用小型薪炊きガス化燃焼温水器の製作	2,942,000

堀尾木材	紀州材を使用したポール型カーテンレールと自動開閉装置の開発	729,000
アクロナイネン(株)	自動車エンジン用ダイカストピストンの開発	2,006,000
楠本(株)	老人介護用おしり拭き布の研究開発	2,080,000

(5) 知的財産戦略事業

ア 新事業支援コーディネーター設置事業

県内中小企業が保有する知的財産や技術を活用したビジネスモデルの構築に対するアドバイスや、県内企業の技術ニーズと大学や県立試験研究機関が有する特許・技術シーズのマッチングによる事業化支援等を行うため、新事業支援コーディネーターを設置した。

- ・企業訪問件数144回 来訪14回
- ・特許・技術シーズ紹介 5社 シーズ把握 2社
- ・特許・技術ニーズ把握 28社
- ・ライセンス契約締結1件（北浦商店）

イ 技術連携コーディネーター設置事業

県内企業が保有する開放可能な特許技術を掘り起こすことにより、他企業へのライセンス使用を推進、また、技術ニーズを把握し、外部技術（県内外企業、県立試験研究機関、大学等）の導入を支援するため、技術連携コーディネーターを設置した。

- ・特許・技術シーズ紹介 28社
- ・特許・技術ニーズ把握 13社

ウ 科学技術コーディネーター機能強化事業

県立試験研究機関の研究成果の技術移転、公募型研究開発資金獲得のため産学官連携による研究開発プロジェクトの立案等をアドバイス、コーディネートする科学技術コーディネーターを設置した。

- ・年間企業・大学等訪問件数 49件

(6) 成長企業育成支援事業

地域中核企業の育成を目指すため、成長企業が抱える課題に対し、重点的・継続的な集中支援を行うサポーターチームを結成し、支援を行った。

- ・支援企業数 3社
- ・派遣延回数 55回

企業名	支援内容
(株) 寿精密	更なる5S、ムダ排除による経営改革 (やらざるを得ない仕組みの構築)
三木理研工業(株)	エチレン尿素の新合成法の開発 乳化重合関連技術の確立
(株) インテリックス	フランチャイズ事業の構築 経営インフラの整備

(7) 中小企業中核人材導入支援事業

地域におけるリーディングカンパニーの育成・支援を目的とし、新事業の展開等に取り組む中小企業者等の成長に必要な中核人材の導入支援を行った。

委託先企業	支援企業
紀陽リースキャピタル(株)	紀陽除虫菊(株)
紀陽リースキャピタル(株)	ワコン(株)

2 中小企業支援基盤整備促進事業

(1) 情報化促進普及啓発事業

企業支援データベースの拡充や情報化基盤に関する保守管理等を行った。

(2) 販路マッチングナビゲート事業

独創的な技術や製品を持つ中小企業者等と独自販路を持つ企業OB販路支援集団とのマッ

チングを行い、販路開拓に関する支援を行った。

- ・商品プレゼン会開催 1回

開催日	会場	プレゼン企業数
2月19日	大阪産業創造館	9社

### 3 国際経済交流支援事業

県内企業の国際的なビジネス活動を支援するため、和歌山国際経済サポートデスク相談員1名を設置し、貿易・投資等の相談に応じるほか、グローバルな経済、貿易等、最新情報の収集・提供を行った。また、和歌山国際ビジネス交流サロンを創設し、中小企業者等との総合交流の場を持ち企業間の相互連携意識の醸成、国際化マインドの育成等に努めた。

- ・相談件数 延べ185件

＜地域別相談実績＞

アジア	ヨーロッパ	北米	その他	合計
98件	18件	19件	50件	185件

＜講座・セミナー開催実績＞

開催日	講座・セミナー名	参加者数
7月24日	輸出促進のためのマーケティングセミナー	37名
8月26日	貿易実務セミナー「英文Eメールの基礎」	45名
11月9日	2009貿易実務講座	57名

＜その他＞

開催日	内容	参加者数
6月23日	第2回和歌山国際経済交流サロン	14社
9月14日	ABIC 商社OBによる海外ビジネス相談会	6社
10月21日	第3回和歌山国際経済交流サロン	25社
12月16日	一日ジェトロ in 和歌山	83名
3月9日	第4回和歌山国際経済交流サロン	14名
3月18日	中国ビジネス企業意見交換会及び個別相談会	19名

### 4 わかやま中小企業元気ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済」を目標に「地域経済を支える中小企業を育成・振興し、足腰の強い地域産業の創出・育成」の実現を図るため、地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、中小企業者等と大学、国立工業高等専門学校や公設試験研究機関との共同研究等から生まれた研究成果の事業化及び中小企業者等による新たな事業構想を発掘するためのコーディネート活動に対し、支援を行った。

- ・支援内訳

単位：円

事業名	件数	補助率	交付決定額
地域資源活用事業A	26件	2/3	54,275,000円
地域資源活用事業B	8件		44,481,000円
新産業育成事業A	2件		10,000,000円
新産業育成事業B	5件		44,736,000円
産業支援機関事業	10件	4/5	8,575,000円
合計	51件		162,067,000円

### 5 債権管理事業

#### (1) 設備貸与・資金貸付事業

設備貸与企業や設備資金貸付企業に対して、巡回指導により経営基盤の強化を図るとともに、未収企業には債権回収の強化を図った。なお、未収債権2,355,395円を回収した。

#### (2) 創造的中小企業創出支援事業

ベンチャーキャピタルを通じて間接投資企業の経営状況を把握するとともに、平成 21 年度に期日を迎えた社債の償還に努めた。

## 6 技術振興事業

### (1) 技術研修事業

技術人材育成のための各種講座を開催した。

#### ア 基礎技術講座

・講座回数 6回 参加者総数 146名

内 容		開 催 日 等	参加者数
1	食品製造業のための5Sセミナー	平成 21 年 12 月 2 日 和歌山県立情報交流センター -Big・U	21 名
2	製造現場改善活動の基本と実践ポイント研修	平成 21 年 6 月 (6/3、6/11、6/17) 和歌山県工業技術センター 研修室	36 名
3	製造原価の基礎知識とコストダウン研修	平成 21 年 7 月 (7/16、7/22、7/30) 和歌山県工業技術センター 研修室	26 名
4	品質保証の考え方と品質管理の実践ポイント研修	平成 21 年 9 月 (9/2、9/9、9/17) 和歌山県工業技術センター 研修室	29 名
5	生産性向上実践ポイント研修	平成 21 年 11 月 (11/5、11/13、11/19) 和歌山県工業技術センター 研修室	16 名
6	商品開発マネジメントと問題解決の実践的手法研修	平成 22 年 1 月～2 月 (1/20、1/27、2/3) 和歌山県工業技術センター 研修室	18 名

#### イ 夏休み子供科学実験工作教室

・8月4～6日開催 参加者 38名

### (2) 専門技術研究会事業

県内の様々な産業分野における専門技術の動向、専門知識等の普及と参加企業相互の情報交換を図るため、公設試験研究機関、大学等の研究員が主宰する専門技術研究会の運営を助成した。

・研究会数 13研究会

番号	研究会名称	研究会代表研究主査 所属機関	人数構成			計
			産	学	官	
1	繊維・プラスチック材料の基礎知識	和歌山県工業技術センター	28	0	10	38
2	基礎分析技術研究交流会	和歌山県工業技術センター	47	0	13	60
3	E C Oケミストリー研究会	和歌山県工業技術センター	16	10	6	32
4	環境技術研究交流会	和歌山県工業技術センター	13	2	5	20
5	金属材料研究会	和歌山県工業技術センター	14	0	7	21

6	繊維製品の企画開発	和歌山県工業技術センター	18	0	9	27
7	医薬品等製造業者リスクマネージメント研究会	和歌山県工業技術センター	15	0	6	21
8	光メカトロニクス研究会	和歌山大学システム工学部	6	19	3	28
9	疾病とプロバイオティクス	和歌山県立医科大学	12	3	1	16
10	RT（ロボット・テクノロジー）研究会	和歌山県工業技術センター	18	2	5	25
11	アグリビジネス研究会	和歌山大学観光学部	11	3	0	14
12	モデル検査研究会	和歌山県工業技術センター	19	0	9	28
13	食品技術研究会	和歌山県工業技術センター	18	1	7	26
	計		235	40	81	356

(3) ハイテクセミナー事業

多角的視野からの産業技術の普及のため、最新技術の動向等に関するセミナーを産業界等と共同で開催した。

・セミナー開催数 2回 参加者数 138名

内 容		開 催 日 等	参加者数
1	化学工学会共催セミナー	平成21年12月22日 ダイワロイネットホテル和歌山	45名
2	ワンデイ・W I N T E C in 田辺	平成22年1月29日 和歌山県立情報交流センター Big・U	93名

(4) 公募型事業獲得支援事業

国等の公募型研究開発事業に申請する企業の研究開発計画作成、企業の市場・技術の調査・評価等に要する経費を助成した。

・助成企業数 2社

申 請 企 業		申 請 テーマ	申 請 予 定 公 募 型 事 業
1	焼きたてのパン サンタ	じゃばら素材を用いた健康食品の開発	わかやま中小企業元気ファンド（和歌山県）
2	ファクトリーアイワ	薬用赤紫蘇の成分定量分析と乾燥方法の研究	農商工連携事業（和歌山県）

(5) 技術情報提供事業

テクノ振興部の活動等を紹介する情報誌「テクノウェーブWAKAYAMA」を発行した。

(6) 技術交流促進事業

産学官の連携促進と人的交流を図るため、「わかやまテクノビジネスフェア'09in 発明の祭典」を「発明の祭典inわかやま」の一環として開催した。

開催日 平成21年11月14日（土）～15日（日）

場 所 和歌山ビッグホエール

その他 インフォフェア'09inわかやまと同時開催

展 示 ≪企業≫株式会社アイスティサイエンス、紀和化学工業株式会社、(株)日本橋模型RCセンター、北浦商店、VORTEX、株式会社PDI、日進化学株式会社、有限会社ショコラル、株式会社佐々木農園、プラム食品株式会社



《学校》和歌山工業高等専門学校

《公設機関》和歌山県工業技術センター、和歌山県農林水産総合技術センター、  
財団法人わかやま産業支援財団

#### (7) 企業交流促進事業

話題提供者を中心に、自然科学・人文科学を含む広い範囲のテーマについて理解を深めるとともに、各分野の参加者が自由な立場で出会い、産学官のより一層の交流を図るため、テクノサロンを5回開催した。

回数	開催日	演題等	講師等
100回	平成21年 6月10日	「企業における研究開発」 ～独創的研究のための人材・環境～	(株)島津製作所 取締役 吉田多見男 氏
101回	平成21年 8月27日	見学会 ①奈良文化財研究所 ②奈良先端科学技術大学院大学	
102回	平成21年 10月27日	「儲けとツキを呼ぶ『ゴミゼロ化』工場の秘密」	枚岡合金工具(株) 代表取締役 古芝保治 氏
103回	平成22年 2月2日	「産総研・関西発の革新素材の源流を探る」～炭素繊維の過去現在未来を中心として～	独立行政法人 産業技術総合研究所 研究参与 竹中啓恭 氏
104回	平成22年 2月26日	「大学特許とその実用化」 ～形状・変形・ひずみ計測の事例を中心に～	和歌山大学名誉教授 森本吉春 氏

#### (8) 広域的新事業支援連携促進事業

和歌山大学、近畿大学並びに県内情報サービス関連企業との産学官連携のため、若手研究者と情報サービス企業による研究成果発表会を2回開催し、最新の技術と知識の普及を行った。

- ・平成21年9月10日 ルミエール華月殿  
発表5件（和歌山大学システム工学部教員、会員企業）  
パネルディスカッション（教員6名、企業1名）
- ・平成22年2月2日 ルミエール華月殿  
和歌山大学システム工学部大学院生、近畿大学生物理工学部大学院生によるポスターセッション 30件

### 7 中小企業知的財産戦略支援事業

#### (1) 知的財産戦略支援事業

知的財産戦略の社内体制作りに意欲のある中小企業者等を公募により選定し、知的財産専門家（弁理士）を派遣し、企業の知的財産戦略の策定を支援した。

- ・派遣回数 延べ34人回
- ・派遣企業数 2社（(株)日本橋模型RCセンター、築野食品工業(株)）

#### (2) 中小企業外国出願支援事業

知的財産の海外戦略を有する中小企業3社に対し、海外特許出願にかかる費用の一部を補助した。

- デュプロ精工(株) (米国)
- (株)日本化学工業所 (中国 台湾 韓国)
- 紀和化学工業(株) (イタリア)

### 8 戦略的基盤技術高度化支援事業（近畿経済産業局委託事業）

近畿経済産業局から委託を受けて行う大型研究開発事業で、平成19年から平成21年までの3年間、和歌山県工業技術センターなどの共同研究に参画する機関への再委託により、研究開

発事業を実施した。

テーマ名 絞りプレス加工における洗浄レス化技術およびその実用化技術の開発  
研究グループ 県内企業2社、県外企業1社、大阪大学、東京農工大学、  
和歌山県工業技術センター

## 9 都市エリア産学官連携促進事業（発展型）（文部科学省委託事業）

参画企業のニーズを含め、市場調査、可能性調査の内容等を考慮して各テーマによるディスカッション内容を研究に反映させ、実用化・事業化に向けた共同研究を実施するとともに、研究交流会、技術研究会及び展示会への出展等を行い、連携促進の活動を実施した。また、3年間の事業実施期間の最終年にあたる平成21年度は、事業終了成果発表会及び大阪中央エリアとの合同成果発表会を開催し、事業成果等の周知の拡大を図った。

### (1) 共同研究事業

- ・高純度青色発光有機EL材料の開発
- ・インクジェット用特殊色素の開発
- ・カリックスアレーンを用いる超高感度センサー材料の開発
- ・カリックスアレーン類を用いる特異的包接能材料、屈折率変換材料及びフォトレジスト材料の開発
- ・蛍光増白剤の開発
- ・多機能シリカ化合物を用いるエレクトロニクス材料の開発
- ・多機能有機シリカ化合物の薄膜物性評価とデバイスへの応用
- ・バイオベース機能性モノマーの開発
- ・機能性食品素材の開発

### (2) 平成21年度における研究交流事業

#### ア 産学官連携の推進

事業関連分野の最新情報やユーザー企業による新製品開発などの話題を提供する研究交流会や技術研究会等を開催した。また、事業終了成果発表会及び大阪中央エリアとの合同成果発表会を開催し、事業成果等の周知の拡大を図った。

- ・研究交流会 2回、特別講演会 1回、技術研究会 3回、関連会議等 2回

#### イ 研究開発成果の普及活動

- ・取組目標報告会 1回、事業終了成果発表会 1回、大阪中央エリア合同成果発表会 1回、展示会出展（東京） 2回

## 10 地域力連携拠点事業

地域力連携拠点として、応援コーディネーターを設置するとともに、県内外の関係機関と連携し、中小企業者等が必要とする情報の収集、提供を行った。

また、中小企業者等が取り組む地域資源を活用した事業化に対し、ブラッシュアップ及びフォローアップに重点を置いた相談業務を行い、経営力の向上を支援した。

- ・巡回相談及び窓口相談件数 273件
- ・地域産業支援活動事業計画 認定1件、申請中2件
- ・農商工連携事業計画 申請中2件

## 11 都市エリア産学官連携促進事業（一般型）（文部科学省委託事業）

実用化・事業化に向けた共同研究を実施するとともに、研究交流会の開催及び展示会への出展等を行い、連携促進の活動を実施した。

### (1) 共同研究事業

- ・次世代型青果物剥皮技術の開発
- ・一次加工果実のための新規安全性獲得・管理技術の開発
- ・クエン酸発酵による新しい果実飲料の開発
- ・健康増進作用を有する機能性成分の解析とその原体調製法の開発

- ・健康増進作用を有する機能性成分の動物及びヒトでの評価
- ・香気成分・色素成分の活用技術開発
- ・機能性の高い梅果実供給に向けた栽培管理技術の開発

## (2) 平成 21 年度における研究交流事業

### ア 産学官連携の推進

事業関連分野の最新情報やユーザー企業による新製品開発などの話題を提供する研究交流会を開催した。

- ・研究交流会 2 回（キックオフセミナーを含む）

### イ 研究開発成果の普及活動

## 12 わかやま農商工連携ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済の創造」の実現に向け、本県経済の中核を担う中小企業者と農林漁業者の活性化を図るため、中小企業基盤整備機構、和歌山県、県内の金融機関等の資金で「わかやま農商工連携ファンド」を創設し、県内の農商工連携を促進させ、地域経済の振興に資する取り組みを当ファンドの運用益によって助成した。

- ・助成件数 2 件 交付決定額 8,862,000 円

助成事業者	事業内容	交付決定額
わかやま農業協同組合 サカイキャニング(株)	県内産の新生姜を用いた地域ブランド商品「ジンジャエール」の開発	5,000,000
紀州炭素(株) (有)川口農園	梅古木を使用した炭粉末製品の開発	3,862,000

## 13 元気企業技術データベース構築事業

既に財団ホームページで紹介している県内企業技術力データベースのデザイン等をリニューアルするとともに、新たに県内中小企業の優れた技術、こだわりの技術を調査・発掘し、「元気企業技術」としてデータベースに登録、情報発信することで県内中小企業の受注機会の増加、販路開拓を促進した。事業の実施に際し、本事業の母体である和歌山県緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業の趣旨に則り調査員及び事務員を新規に雇用した。

- ・データベース登録企業数 585 件
- ・新規雇用者数 4 名

## 14 ふるさと雇用再生特別基金活用事業

「商品開発計画作成」及び「商品開発計画スケジュール管理」をサポートする商品開発サポーター 1 名を設置し、新たな商品開発のアイデアを具体的に計画書として作成するとともに、スケジュール管理を側面から支援した。

- ・訪問企業件数 90 回

## 15 低炭素社会実証モデル事業

経済産業省の採択を受けた委託事業で、当財団が管理法人となり、平成 21 年度 10 月から、和歌山県（和歌山県工業技術センター、和歌山県農林水産総合技術センター）、独立行政法人産業技術総合研究所、学校法人近畿大学、国立和歌山工業高等専門学校、財団法人電力中央研究所などの研究機関並びに県内企業と連携し、低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証を行うため、バイオマス活用に向けた高発熱量ブリケット製造技術開発と低コスト木チップ化実証試験を実施した。

## 16 企業革新支援事業

県内中小企業者が革新的な産業分野において新製品の試作開発等の新たな事業展開を実施する事業に対し助成した。

- ・助成件数 5 件

	実施テーマ名	採択企業名
1	自動車用樹脂ギア-の開発	株式会社ワメンテクノ
2	高速道路用アクリル板遮音壁の量産試作	カナセ工業株式会社
3	リチウムイオン電池のメイン原料であるカーボンスラリー液を移送する2軸スクリーポンプの改良・開発	伏虎金属工業株式会社
4	染色分野の洗浄機を基盤としてフィルム分野に挑戦する為の高機能洗浄機の試験開発	株式会社山東鐵工所
5	産業用インバーターエコチラーの開発	株式会社メイワ